

令和6年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (Ⅰ 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【那須塩原市】
令和6年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒の就学相談 ・日本語支援員の配置 7名 (うち教員免許取得者2名) (対応言語; 英語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語及び中国語) ・学校への指導・助言 ・外国人児童生徒教育推進協議会の運営 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>那須塩原市外国人児童生徒教育推進協議会 <構成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会担当者 3名 ・日本語教室担当教員 各校1名 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ 指導・助言</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>拠点校 <日本語教室担当教員> <日本語支援員> <日本語教育サポーター></p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;"> 巡回指導 受入指導 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>拠点校以外の学校 <日本語支援員> <日本語教育サポーター></p> </div> </div>
<p>2. 具体の取組内容</p> <p>(1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営</p> <p>那須塩原市外国人児童生徒教育推進協議会の開催 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒教育相談員の活用に関する意見交換 ・日本語教区サポーターの活用に関する意見交換 ・外国人児童生徒教育拠点校における指導方法の共有・情報交換 ・日本語支援員との連携に関する意見交換 ・各校の現状と課題の共有及び話し合い <p>指導方法教材についての情報交換拠点校訪問・情報交換 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書に沿った指導がなされているかの確認、実態把握

- (2) 学校における指導体制の構築
 日本語教室担当教諭(県費)の配置 2名
 日本語支援員(市費)の配置 5名
 ・拠点校以外における外国人児童生徒の支援が可能
- (3) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施
 「特別の教育課程編成・実施計画書」の作成、実施及び評価
 ・実施計画書の作成に向けた相談支援
 ・実施計画書の確認及び助言
- (4) 成果の普及
 市のホームページに実践の内容を掲載
- (10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣
 日本語教室担当教諭(県費)を2名、日本語支援員(市費)を5名配置し、自校指導を行いながら、他校の児童生徒を受け入れて指導し他校への巡回指導を行った。

3. 成果と課題

- (1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営
 参加者が外国人児童生徒教育について理解を深めることができた。
 参加者同士で情報交換を行い、日本語指導に生かすことができた。
 「特別の教育課程編成・実施計画書」等の書き方や時間割の組み方等が確認できた。
- (2) 学校における指導体制の構築
 拠点校だけでなく、拠点校以外でも日本語指導を行うことができた。
 充実した支援により児童生徒の意欲が高まった。
 児童生徒が安心して学校生活を送ることができた。
- (3) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施
 計画に基づき、児童生徒に応じた指導ができた。また、次年度に向けて、改善点を見出しより良い計画につなげることができた。
- (4) 成果の普及
 取組や成果を広く周知することができた。
- (10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣
 母語による通知を保護者に出すことで、学校と家庭をつなぐことができた。

	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	特別支援 学校
本事業で対応した幼児・児童 生徒数	人 (園)	33人 (9校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
うち、特別の教育課程で指導 を受けた児童生徒数		33人 (9校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)

4. その他(今後の取組予定等)

- ・ 児童生徒や保護者への適切な対応を可能にするため、教員経験のある日本語支援員を確保する。
- ・ 中学生を支援できる体制の構築
- ・ 中学生の進路指導の充実
- ・ 子供一人ひとりに適したより良い指導を行うため支援員の増員